

第1677回 2015.3.10

2014-2015

LIGHT UP ROTARY

半田南ロータリークラブ ●創立：1980.2.12 ●認証：1980.2.25

■会長／榊原 肇 ■幹事／岩部 雅人 ■例会／毎週火曜日 半田商工会議所
愛知県半田市銀座本町1の1(半田商工会議所内) TEL.(0569)21-0324 FAX.(0569)23-4546



- 司 会 S. A. A 杉山 知子君
- ソングリーダー 杉山 知子君
- ロータリーソング 「我等の生業」
- 今月の歌 「青い山脈」
- ピアノ 中田美由紀さん
- ビジター 加藤 順三君 (半田RC)

会長挨拶

会 長 榊原 肇君



ロータリーのプロジェクトは、どれも一人のアイデアで始まり他のロータリアンが手を貸すことで発展し、ネットワークの力で地域を変えていきます。地域の市民として変化の力になるには、ロータリーで取り組むのが一番の方法だと思います。ロータリーでは多くの人と交流やボランティア活動ができます。政治家でなくても一人のロータリアンが地域を変えることができるのです。誰だって社会に貢献したい恩返しをしたいと思っているはず。人のためになりたければ、何が必要とされているかを知ることが第一歩です。自分で名乗り出るにせよクラブが選ぶにせよ、リーダーの役割を務めましょう。リーダーは模範を示す人です。気持ちさえあればみんなでクラブを前進させることができます。みんなですること、これが大事なのです。そしてみんなで成し遂げた時、とても大きな満足感がありロータリアンであることを誇りに思います。

半田南ロータリークラブがスポンサーとして応援する「半田災害支援ボランティアコーディネーターの会」はまさに一人のロータリアンのアイデアから始まりました。災害発生時の支援活動に関する様々な研修は、今ではこの地域になくはならない存在となっています。資金を援助することも大切ですが、会員の皆さんも積極的に研修会に参加してみたいはいかがでしょうか。

委員会報告

●出席委員会

第1677回例会 3月10日(火) 天気(曇)

本日の例会は28名の出席にて、出席率は82.35%です。なお、前々回は地区大会、全員登録で100%出席です。

●Smiling Box

- 都築 延男君 明治23年に日本で初めての陸海軍大演習が明治天皇来半の元に行われました。現在その歴史を当社にて制作中であり、その執筆をして戴いた方が市野忠士先生です。
- 新美 茂君 小栗さん、写真ありがとうございます。
- 石川 勝彦君 東日本大震災から明日で丸4年、一日も早い復旧、復興を願います。又亡くなられた方々のご冥福をお祈りします。
- 都築 利全君 小栗雅彦さん、写真CDありがとうございました。
- 山本 育輝君 CDありがとうございます。小栗さん、話は変わりますが、半田商業が90周年を向かえます。卒業生の方は協賛広告お願いします。
- 鈴木 宏司君 今朝、飼っていた犬(ダルメシアン)が亡くなりました。南無阿弥陀仏。小栗さんありがとうございます。
- 斎藤 健一君 妻の誕生祝い、ありがとうございます。
- 杉山 知子君 甥っ子2人が大学に合格しました。4月から無事に大学生になれるはず。早退します。近藤 敏通君 横尾 哲也君

合計10名 18,000円





スピーカー 半田市ボランティアガイド
元中学校教師 市野 忠士様
演 題 「船頭“小栗重吉”について」

卓話資料

小栗重吉の名誉を回復しよう 平成 27 年 3 月 10 日 市野忠士

市野忠士 自己紹介

昭和 18 年 8 月 26 日新城市に生まれる。昭和 20 年～21 年 半田中村橋横に住む。
昭和 21 年秋から昭和 26 年 3 月(小学 2 年)まで南知多内海に住む。
昭和 26 年 3 月から、現在まで東浦町緒川に住む。

刈谷高校・名古屋大学教育学部卒、小中学校教員(最後は乙川中)

定年後、半田観光ガイド協会と東浦ふるさとガイド協会の会員で、現在に至る。

遭難 200 周年

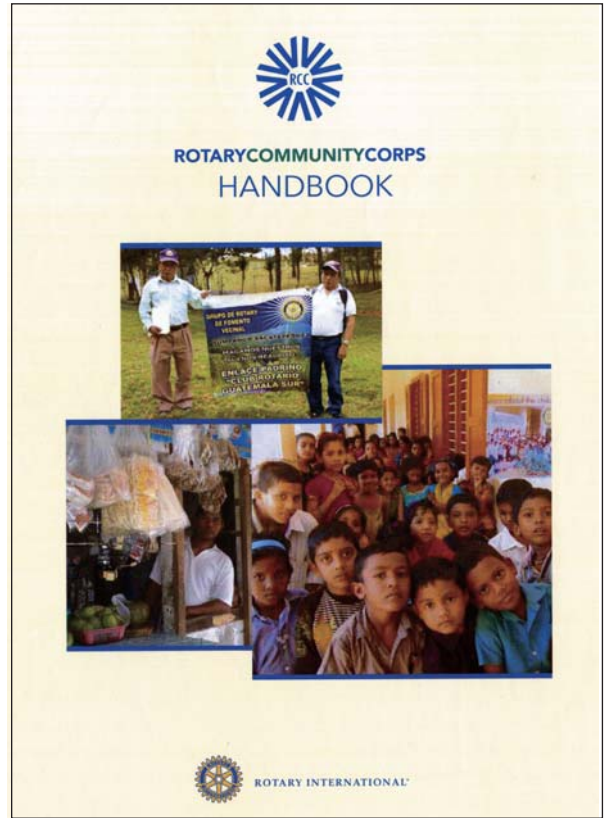
1813 文化 10 年に、名古屋堀川沿いの小島屋庄右衛門所有の督乗丸に乗る 仮船頭
1813 文化 10 年 11 月 26 日に、遠州灘で重吉船が遭難 17 ヶ月 14 人中 11 人が病死
1815 文化 12 年 3 月 24 日(旧暦 2 月 14 日)にイギリス船「フォレスト号」に助けられるま
での 484 日間を漂流、世界最長 カリフォルニア アラスカ カムチャッカ
重吉は督乗丸が遭難する前に、2 度も遭難船に遭遇して合わせて 31 人の船乗りを救
助していたそうです。尾張藩士水野正信の「資治雑笈」に記されています。

乗組員の一覧表です。

- | | | | |
|-------|----------|---------------|------------------------------|
| 船頭 | 重吉 | 半田村荒古 | 生還 |
| 碇い | 孫三郎 | 半田村西畑 | 翌年 6 月 13 日死亡 |
| 舵取 | 藤助 | 半田村荒古 | 翌年 5 月 6 日死亡 |
| 水主 | 七兵衛(七蔵?) | 半田村 | 翌年 5 月 8 日死亡 |
| 水主 | 庄兵衛 | 半田村西畑 | 翌年 6 月 12 日死亡 |
| 水主 | 半兵衛 | 亀崎村 | 1816 年 6 月 11 日ペテロパロフスク出航後死亡 |
| 水主 | 要吉 | 名古屋矢場 | 11 月 4 日の最初の嵐で海中へ、行方不明 |
| 水主 | 為吉 | 乙川村 | 翌年 6 月 16 日死亡 |
| 水主 | 音吉 | 伊豆国子浦村(現南伊豆町) | 生還 子浦で天寿を全う |
| 水主 | 福松 | 伊豆国子浦村 | 翌年 6 月 12 日死亡 |
| 水主 | 三之助 | 伊豆国柿崎村(現下田市) | 翌年 6 月 18 日死亡 |
| 水主 | 重蔵 | 伊豆国田子村(現西伊豆町) | 翌年 6 月 20 日死亡 |
| 水主 | 安兵衛 | 伊豆国子浦村(現南伊豆町) | 翌年 6 月 28 日死亡 |
| 炊(わか) | 房次郎 | 半田村 | 翌年 5 月 28 日死亡 |

1817 文化 14 年 5 月 2 日に名古屋城に到着しました。5 月 4 日か 5 日半田村に帰る。

- ※1 武士に取り立てられるが、辞退して仲間のために石碑を笠寺建設(熱田成福寺)
- ※2 新城藩の池田寛斎が船長日記を書く。武士の間では少しづつ認められる。
- ※3 半田地区では船長だけが帰って来て、非難ごうごう。
音吉は幕府領のために、遭難については一切語らず。
「唐人重吉」として差別いじめにあう。特に家族がかわいそう。
半田町史(榊原駒太郎氏)など、ぼろくその記録。武士の記録はほとんど。
- ※4 現在も重吉の名誉は回復されていない。
2017 平成 29 年の 5 月こそが、残された唯一のチャンス。
重吉の名誉を回復しよう。



Teaching schoolchildren about disaster prevention

The RCC of Handa Volunteer Disaster Relief Coordinators Society works with local schools to organize disaster prevention classes for youth of all ages in the Handa city area. These classes take place in nursery, elementary, and secondary schools and at the university level. Class activities include first aid, building portable toilets, and emergency food preparation.



次回の例会

第1679回例会 RCC活動報告会
3月31日(火) 於 半田商工会議所